

林業安全コラム

あわてるな 手を出す前に
危険予知 ヨシ！

(2016年度 安全衛生スローガン<月間重点活動>)

○ 6月1日から30日まで、「全国安全週間」の準備期間です。

今年で89回目となる全国安全週間は、労働災害を防止するための産業界での自主的な活動を推進するとともに、職場での安全に対する意識を高め、安全を維持する活動の定着を目的としています。

今年度のスローガンでは、安全な職場環境を形成するために、同じ職場にいる労働者全員で早期に危険要因を発見・改善・見える化し、事故の発生を未然に防ぐことを呼びかけています。

**「見えますか？ あなたのまわりの 見えない危険
みんなで見つける 安全管理」**

をスローガンに展開されます。全国安全週間を契機として、それぞれの職場で、労働災害防止の重要性を認識し、安全活動を着実に実行しましょう。

○ 林業労働災害の発生事例について (類似災害防止のために！)

立木の伐採現場において、かかり木のかかられた木を伐倒したときにかかり木が落下して、作業者を直撃したものである。

作業は、約3ヶ月の予定で杉檜林の皆伐作業を行うもので、立木を伐木造材し、林業架線により集材し、土場まで搬出などを行うものである。

災害発生当日はこの作業の開始日で、事業者および作業員計7名が現場に到着した後、午前8時、事業者が作業員の配置を決め、立木伐倒、土場で集材機を設置する場所を作る作業などを開始した。

1時間が経過した頃、作業員Aが伐倒した立木がかかり木となったため、作業員Bと作業員Cが牽引具とワイヤロープを用いてかかり木を外した。さらに1時間経過した午前10時頃、作業員Aが伐倒した立木が再びかかり木となり、Bが林内作業車で引張って外した。

午後3時頃、今度は山林の上方でCが伐倒した立木が、かかり木となった。かかり木はかかられた木の谷側にかかっていたので、Cはその処理のため、かかられた木を伐倒することとし、かかられた木の山側に位置して伐倒作業を行った。かかられた木は谷と平行の方向に倒れたが、かかり木はかかられた木の山側に落下した。Cはかかられた木が倒れ始めても、伐倒位置から動かなかつたので、落下したかかり木がCを直撃した。

【かかり木になったなら、すぐに、かかられた木からかかり木を外して下さい。かかり木になると、かかり木がいつ落下するか分からず、不安全な状態となるため、ただちに、安全な方法でかかり木を外す必要があります。】



<お知らせ>

今回の熊本地震におきまして被災された皆様におかれましては、心よりお見舞いを申し上げます。一日も早い復旧をお祈りいたします。

これから、炎天下での作業も始まりますので、熱中症の注意喚起をお願いします。

林業労働対策室
労働安全衛生班